

まちづくり懇談会内容

日 時： 令和 6 年 11 月 25 日(月)18:30～19:50

場 所： カルチャープラザ

出席者： 36 人

1. 開 会
2. 町長挨拶
3. 懇 談

(1) 主要施策の取組状況について 資料①参照

(2) 自由懇談

4. その他

- ・資料②参照 ネイチャーポジティブの実現に向けて
- ・資料③参照 紙の保険証の発行について
- ・資料④参照 緊急告知 FM ラジオについて

5. 閉 会

【自由懇談・その他の質疑など】

■公共施設の長寿命化について

町 民 地方自治体の財政状況が厳しいなか、栗山建設協会としては、町の財政負担をかけないような取り組みをしていかなければならないと考えている。現在は、古い建物を壊し新しい建物を建てるスクラップ＆ビルドが主流だが、今後は既存の建物を長寿命化する、できる限りコストのかからないような取り組みをタイアップしてやっていきたいと考えている。

町 長 公共施設寿命化計画を策定しており計画に沿って進めている。令和 17 年までの期間、基本的には長寿命化対策を講じながら現在の公共施設を維持していく考え。その一つをあげると、最後の老朽公営住宅である中里団地の建て替えと並行しながらふじ団地の外壁を直して長寿命化を進めている。早い段階で対策を講じながら少しでも耐用年数を伸ばしている。しかし、令和 17 年まで維持すると言いつつも、人口減少が進む中でこのままの施設を維持していくのは難しい。今度の計画の見直しの中では、どの施設を残し、どの施設を廃止するのかなど今後は厳しい判断もしなければならぬと思っている。懸念しているのは、水道、下水道の間を含めたライフラインの施設。そのあたりをどのように維持していくかが将来の課題だと思っている。施設の維持や料金の関係も検討しなければならない。長寿命化をあげると、公営住宅の関係、上下水道、他の公共施設については、効果的な施設修繕を講じていきたい。

■ネイチャーポジティブについて

町 民 ネイチャーポジティブは最終的に計画や条例を作ることだと思うが、難しいのは計画や条例を作ることではない。ヨーロッパでは、この 30 年で 70%、日本でも 40%の昆虫がいなくなった。町内でも、ハサンベツ以外昆虫がいなくなってきている。これを戻すということは非常に難しいこと。そのための心の柱みたいなものを作るのが栗山町のネイチャーポジティブだと思う。ネイチャーポジティブの担い手をどのように若い人たちにつなげていくのか。心の柱みたいなものをネイチャーポジティブの中でうたいながらやっていってほしいと思う。

町 長 目指すところは、単に自然再興を目指すものではないと考えている。目指す目標には栗山らしさがなければならない。町全体が自然環境分野や農業の分野、経済・企業の分野など幅広い分野をできるところからやっていきたい。なんとか栗山町の唯一無二のブランドである自然環境を含め、子どもたちに自然環境を残していきたい。そのきっかけとなるのがネイチャーポジティブだと思っている。勉強しながら進めていきたい。

■緊急告知 FM ラジオについて

町 民 配付率が50%を切っていて倉庫にはたくさんのラジオが眠っていると思う。前回のまちづくり懇談会では事業所の設置について検討するということだったがどうなっているか。

総務課長 町としても配付率を高めようと、議会とも宅配についての協議をした経過もある。しかし、大事なのは、防災の意識を高める取り組みが重要ということになった。配付率が%切っているということもあり、衆議院議員選挙の投票所や、まちづくり懇談会の会場で臨時窓口を設けるなど、配付率の向上を目指し取り組んでいる。事業所への配布も、検討を進めており、今年度中にはある程度の配付率まで上げたいと考えている。

■小中学校の適正化・小中一貫教育について

町 民 小中学校の校舎は長寿命化でいくのか、新たに建てるのか。小中学校の一貫教育が進められる場合は、どちらか一方に建物を寄せていくことになるのか。

教 育 長 第7次総合計画の中では長寿命化を推進しており、計画にのっとって進めているところ。建て替えるという話はない。小中一貫教育は3種類あり、一つ目が義務学校と呼ばれているもので、校長が一人で教頭が二人、全部が一体型のもの。二つ目が併設型で、小中学校それぞれ校長・教頭が一人ずつ。三つめが分離型で、栗山町はその分離型で進めている。例えば、小学校から中学校に上がってきた生徒がついてこれていなかった場合、小学校の教科書のどこに戻ればいいのかといったところも小中一貫教育の大事な部分。管内でも一番多く教職員の加配を受けており人材が豊富になっている。

■健康保険証の手続きについて

町 民 今までは有効期限が切れるころに健康保険証が送られてきたが、マイナ保険証になったらどうなるのか。

住民保健課長 マイナ保険証はマイナカードに機能が加わることになる。マイナカードが5年に1度更新が必要になり、その際には役場に来ていただくことになる。マイナカードが有効な期間は保険証として利用できる。

■ハサンベツ地区の携帯電話の電波について

町 民 ハサンベツの奥は携帯電話の電波が届かないところも多くあるので対策を検討したい。

町 長 検討したい。